

～安心を未来へ～

2011年1月1日発行 新年号 No. 191

## 謹賀新年



### ◇平成23年(2011年)年頭の挨拶

本部長 竹内 政司〔多摩支部 竹内運輸工業(株)〕



明けまして、おめでとうございます。

こうして新しい年を迎えられましたこと、とても嬉しく思っています。皆様方の協力と素晴らしい貢献に、心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

さて、平成23年の干支は、辛卯(かのとう)。「辛」の字は新(あたらしい)で、草木が枯れて新たな世代が生まれようとする状態を表し、「卯」の字は「茂る」意味で、草木が地面をおおう状態を表しているそうです。十二支に配した動物は、兎(うさぎ)ですが、兎というと「跳ねる」イメージがあり、今年は政治も経済も、物事がリズムカルに前に進んで行くことを願うばかりです。

しかし現実には、15年振りの円高、終わりのみえないデフレ、現実離れした政権公約、政治主導にこだわり、日本経済の再生すら懸念される政治の混迷が続くばかりで、貨物運送事業を取り巻く経営環境は、日に日に悪化の一途を辿っています。

地球温暖化対策税(環境税)も段階的に導入が表明されていますが、環境保全は未来への安心を提供するものだと思いますし、取組まなければならない課題であることは事実です。だからこそ営自区別を明確にし、将来を見据え、国際情勢に鑑み、国家としての兵站のあり方を示してもらいたいものです。

我々貨物運送事業者は時代や政権が変わろうとも、国民の生活を支え続け、事故防止に努め、変わらぬ安心を提供することには変わりはありませんし、その自負と誇りは持ち続けなければなりません。ロジ研メンバーは今こそ自立自尊を以ってお互いの個性を尊重し、同時に相互に和合し、協力し、扶助の心を大切にすることが重要だと思います。戮力協心、協同一致こそがこの難局の時代を乗り切る我々のあり方だと考えます。

仕事においては全ての人の為に安全を確保し、命と夢を大切に、凡事徹底、当たり前なことを当たり前出来るよう日々、教育訓練を積み重ね真面目に、きちんと正面から更なる事故防止活動に取り組み輸送品質、作業品質を作り込んで行かなくてはなりません。そのためには決め事を守りブレることなく常に自らを律し、周囲に配慮し、どんなに環境が変化しようとも、困難に立ち向かう勇気が必要です。勇気は未来への扉を開く鍵です。

今年も「安心を未来へ」提供できる諸活動を展開して参りますので、更なるお力添えをお願い致します。

### ◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 1/24(月)16:00 正副本部長会議  
17:30 第2回オープンセミナー 東ト総合会館4F
- 2/10(木) 三組織合同セミナー・新年会 新宿京王プラザH
- 3/ 8(火) ロジ研フォーラム・東ト総合会館

### ◇「下請法の改正の怖い裏話？」

民主党の一部の議員が「下請法」改正を目指して動いているようだが、その背景に関西のトラック協会の重鎮が糸を引いているみたいで、中○治衆議院議員(大阪府)の動きを見れば歴然と・・・『下請法勉強会(仮称)』を立ち上げてトラック事業者の意見を聞きながら今後の方向性を話し合う・・・云々 03年に改正された下請法(下請代金支払遅延防止法)が、孫請けやひ孫請けになると運賃が3分の1以下になるのを是正できない「ザル法」という話が引き金で、話の出元が大阪の府議会議員と関西のトラック協会会員意見交換会かららしい。ここまでなら良くある話だが、そのエリアの支部長クラスのうら話では、その協会の重鎮は、『日○通○等の大手路線や、日○物○等の大手物流子会社の孫請け使用禁止』を狙って中堅中小業者に有利になる法改正を目論んでいるとの話・・・だが・・・???

結局、今度は中堅の会社が有利になるだけで、中小零細企業が大半の私たちの運賃は今までどおりの気がしてならない!!(T\_T)  
(筆) どちらねこ

### ◇「タイ旅行記Ⅰ」

広報副委員長 鈴木 貢〔葛飾支部 (有)すずか梱包運輸〕

ビーと辺りに大きく響き渡る音が聞こえた。ディーゼル機関車がどけっ、どけっどばかりに人垣を押しつけホームに滑り込んでくる。なんと大胆なそしてなんと野蛮な。しかし、人垣はささっさと退いて機関車は何事もなかったかのように目の前に停車した。

今いるのは、クワイ河駅。ここ、カンチャナブリはミャンマーとの「国境の町」。あの映画「戦場に架ける橋」の舞台となった街で、太平洋戦争中、連合軍の捕虜と日本兵、現地の住民を総動員して日本軍が作り上げた、泰面鉄道と呼ばれたあの国際鉄道が通った街なのだ。



さて、私たちは汽車に乗り込む。ドアはない、というか開けっ放しでしまらない。自分の指定された席に着くと、周りはほとんどが白人の観光客だ。そして、日本人もちらほらいた。

乗り込むとさっそく乗客一人ひとりに、一枚の証明書が手渡された。多くの犠牲を払って戦争のために作られた鉄道を、いま私たちが平和利用をしていることの実事確認をするための平和利用証明書だった。タイの人々の「戦争と平和」に対する思い入れが強く感じられる一枚だ。

などと、感傷に浸っているうちに汽車はガタンゴトンとミャンマー方面を目指して走り始めた。けして速くは無いが、客車の窓枠にまでビシビシと当たる木立の中を走り抜けて、2時間くらいかかってクワイ河沿いに目的地を目指す。(つづく)

### ◇教育研修部からのお知らせ

1/17(月)17:30 から経営者実務セミナー「食品の安全と健康」を開催します。家族や従業員の健康のために食の安全を考えてみませんか。特に従業員の健康管理教育の情報として新渡戸文化短期大学学長・医学博士の中原英臣氏に医者からの見た食品の安全と健康についてご講演いただきます。是非ご参加をお願いします。

お問い合わせ・お申し込み; 教育研修部TEL. 03-3359-4137

申込書は東ト協 HP から <http://www.totokyo.or.jp/>